

## 保証審査システムの全国統一化について

### 1. 保証審査システムの全国統一化の必要性

- (1) JAバンクにおいては、他行が先行して貸出システムを構築している中、貸出を一層強化するため、他行システムと同等以上の機能を実装した全JA共通の貸出システムを構築することとしている。
- (2) 基金協会は、主務省から将来にわたり安定的・持続的な事業運営を求められており、保証引受基盤の強化のためには、JAバンクと連携した融資・保証の伸長への取組みが不可欠である。
- (3) 現行、各基金協会における保証審査は、県域ごとにシステムも区々となっており、システムを導入していない基金協会も存在する。  
一方、JAバンクの生活資金の保証を主に実施している他の保証機関2社は、全国展開している会社であることからそれぞれ1つのシステムで対応している。  
今後、全JA共通の貸出システムとなった場合には、貸出システムからのデータ提供は、基金協会を含む保証機関側に対して統一様式でしか行われないため、各基金協会の保証審査システムを、この統一様式に対応できる全国統一のシステムとする必要がある。

### 2. 検討状況及び信用基金の本件に対する考え方

- (1) 令和2年6月1日に開催された第37回農業信用保証保険事業・組織問題検討会において、全国統一の保証審査システムを構築する検討に着手することが取りまとめられ、6月15日開催の全国常務者会議で了承された。
- (2) 全国統一の保証審査システムは、他の保証機関に劣後しないよう導入するものであり、全基金協会が統一のシステムを活用することは、信用基金としても、基金協会の保証引受の維持拡大を通じて信用基金の保険引受に直結するものであることから、将来の農業信用保証保険制度の維持に必要なものと考える。
- (3) このため、全基金協会が一体となってシステム構築に取り組むという前提のもと、スケジュールに遅れることなく、保証審査システムが構築されるよう、必要な支援を行っていくこととしている。

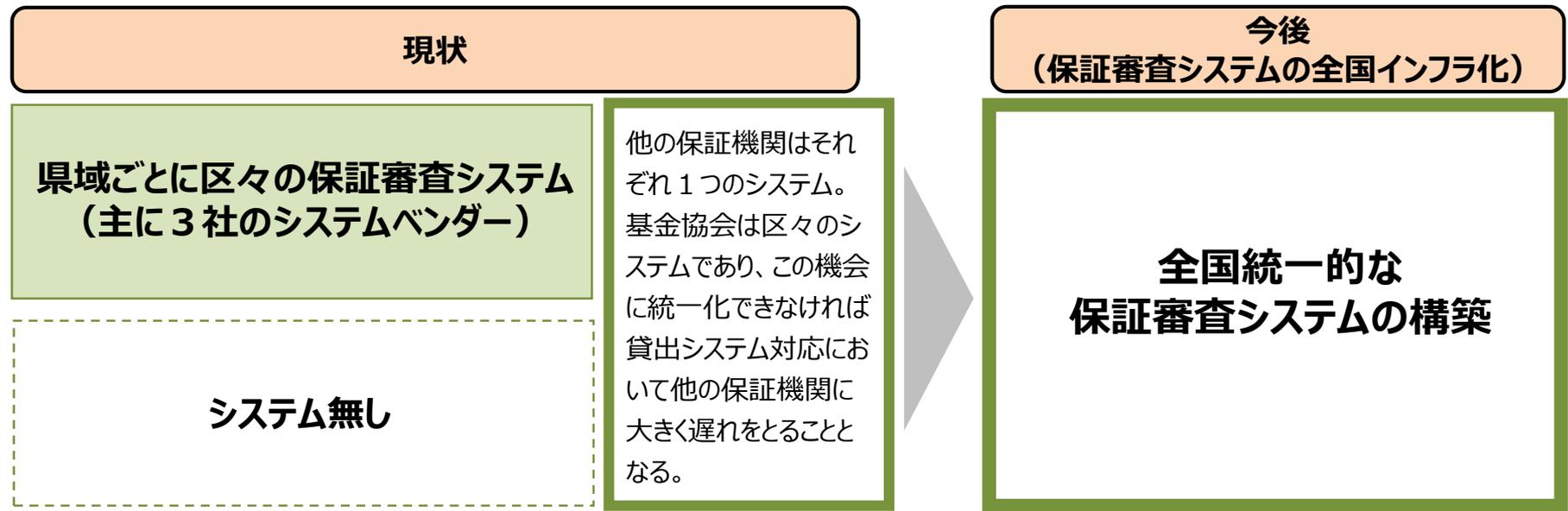
### 3. 今後のスケジュール

- ・ 令和3年6月～ システム開発決定・開発着手
- ・ 令和5年1月 システムリリース

# 基金協会における保証審査システムの全国統一化について

- 概要**
- J Aバンクにおいては、他行が先行して貸出システムを構築しているなか、貸出を一層強化するため、他行システムと同等以上の機能を実装した全 J A 共通の貸出システムを構築することとしている。
  - 基金協会は、主務省から将来にわたり安定的・持続的な事業運営を求められており、保証引受基盤の強化のためには、J Aバンクと連携した融資・保証の伸長への取組みが不可欠である。
  - 現行、各基金協会における保証審査（システム）は、県域毎に区々となっているが、他保証機関は既にそれぞれ1つのシステム。全 J A 共通の貸出システムの導入に当たっては、貸出システムからのデータ提供が保証機関側に対して統一様式でしか行われぬ（他保証機関とも共通様式）ため、各基金協会の保証審査システムは、この様式に対応できる全国統一のシステムとする必要がある。

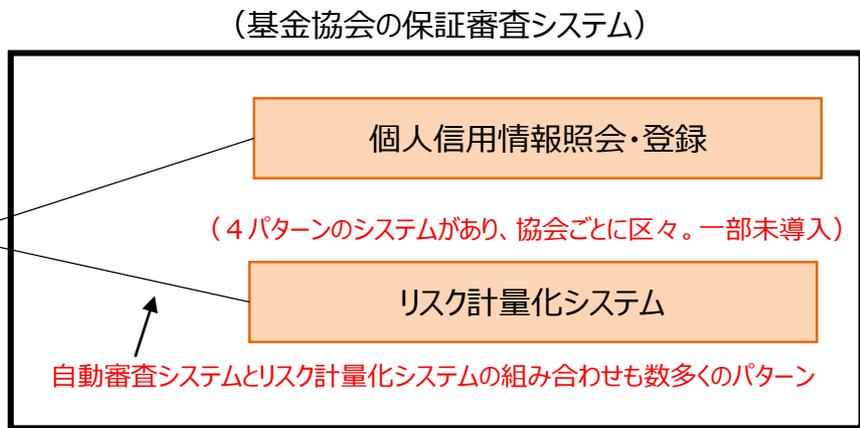
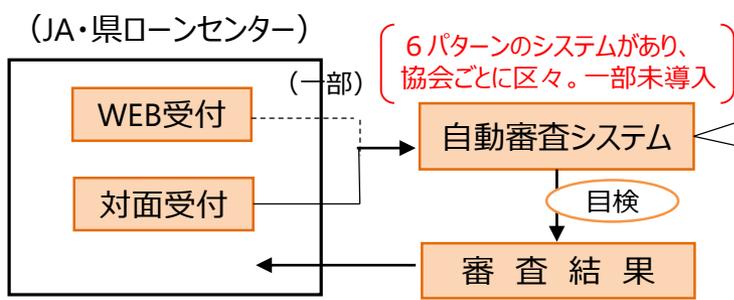
## － 基金協会における保証審査システムのイメージ（案）－



# 基金協会システムの保証審査システムの現状と目指す姿

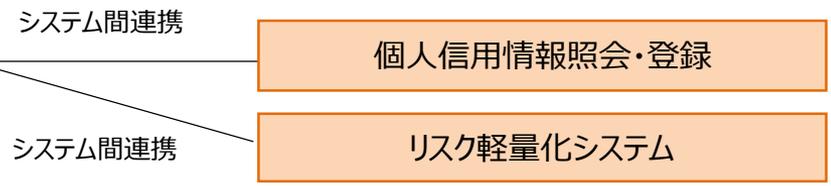
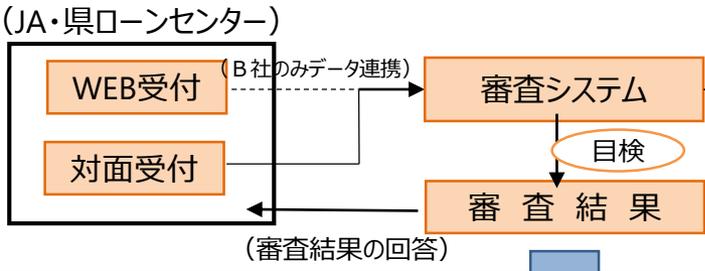
現  
状  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
目  
指  
す  
姿

(ポイント) WEB受付対応は一部の協会のみ  
システムは区々で未導入の協会あり



(参考)  
他の保証機関  
(A社、B社)

⇒ それぞれ単一システム  
⇒ システム間での連携



(ポイント)  
・単一システムで各機能間の連携もスムーズ  
・迅速な回答が可能

